

高齢者虐待を防止しましょう!

虐待にはいろいろなカタチがあります。高齢者虐待防止法で示された5つの虐待の分類と具体例を紹介します。

身体的虐待

体に外傷が生じ、または生じるおそれのある暴力を加えること。

たとえは なくる、ける、やけど・打撲をさせる、ベッドに縛りつける など

経済的虐待

養護者、親族が高齢者の財産を不当に処分すること、その他不当に利益を得ること。

たとえは 日常生活に必要な金銭を渡さない・使わせない、重要な財産を無断で売却・処分する など

心理的虐待

著しい暴言、著しい拒絶の対応、その他心理的外傷を与える言動を行うこと。

たとえは 怒鳴る、悪口を言う、意図的に無視する など

性的虐待

わいせつな行為をすること、わいせつな行為をさせること。

たとえは 排泄の失敗などに対して懲罰的に下半身を裸にして放置する、キス・性器への接触・セックスを強要する など

介護・世話の放棄・放任

衰弱させるような著しい減食、または長時間の放置。同居人による虐待を放置すること。

たとえは 食事や水分を与えない、ゴミを放置したり冷暖房を使わせないなど劣悪な住環境の中で生活させる、必要な介護・医療サービスなどを受けさせない など

虐待はどこでも、誰にでも起こる可能性があります。虐待は養護者だけが悪いとは限りません。高齢者やその家族が孤立しないよう、日ごろからの地域での声かけなどを大切にしましょう。虐待かどうかというよりも、気になる場合はおひとりでも悩まず、まずはご相談ください。

相談窓口 天王寺区地域包括支援センター ☎6774-3386
天王寺区保健福祉センター ☎6774-9857



地域のふれあい喫茶で出張相談

各地域で定例開催されていますふれあい喫茶へ、天王寺区地域包括支援センターや地域の総合相談窓口(四天王寺きたやま苑・四天王寺たまつくり苑)から職員が出向いて、高齢者ご本人やご家族から介護や医療などの相談をお受けしています。内容に応じて関係機関などへおつなぎします。どうぞお気軽にご利用ください。

問 天王寺区地域包括支援センター ☎6774-3386

認知症サポーター100万人キャラバン

～あしたのわたしのためだから……認知症サポーターになってください～

平成17年度から、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、「認知症サポーター100万人キャラバン」の取組みが全国で進んでいます。

認知症は病気です

認知症とは、脳の細胞が死んだり、働きが悪くなったりして障がいがおこり、生活に支障が出ている状態をいいます。誰にでもなる可能性があります。

認知症の人を支えよう

認知症に対して周囲の人が理解を深め、その人ができない部分を補いましょう。偏見をなくし、ひとりでも多くの理解者を増やすことが大切です。

認知症サポーターとは

認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

認知症サポーターになるには

「サポーター養成講座」を受講した人が「認知症サポーター」となり、「認知症の人を支援します」という意思を示す目印のオレンジリングが渡されます。

現在、天王寺区のサポーターは、478名です。

天王寺区社会福祉協議会では、3人の地域生活支援ワーカーがキャラバンメイトとして講師役を務めています。今年の夏休みには、「親子サポーター養成講座」も開催し、小学生の子どもさんにも認知症についてわかりやすく学んでもらいました。



▲ゲーム「輪になってみよう」



▲紙芝居を使って学習

認知症サポーター養成講座のご案内



日時 ① 10月20日(火) 午後2時～3時
② 11月25日(水) 午後2時～3時

場所 区在宅サービスセンターゆうあい

内容 「認知症を理解する」DVD上映ほか

定員 各20名(先着順)

※地域での出前講座も行っています。

申 ①②のいずれかの希望日をお電話で地域生活支援担当まで ☎6774-3377 (担当: 深澤、黒崎、吉俣)

※毎月定例開催していますので、随時お問い合わせください。

ともに助け合うまちづくり、要援護者のネットワークづくり……

昨今、近隣のつきあいが少なく、災害などもの時に不安を抱える高齢者の方も少なくありません。また、地域においてもマンションが増える中、町会への未加入の方も多く、支援を必要とされる高齢者・障がい者の方を把握できていない状況があります。

日常や災害時に役立つモデル安心カードの作成

日常の見守り、また、災害時の支援に役立つアクションプランモデルの安心カードについて取り組むことになりました。他区で使用されているカードや、他都市の情報、また、区内で実際に使われているカードを収集し、「自宅用の安心カード」と「安心登録カード」などを検討しています。

- 名前 ●住所
- 電話番号
- かかりつけ医
- 緊急連絡先
- ……など



今年度の重点取り組み

- ① 世代・障がい・性別を超えて地域での交流の場づくり、子育て支援環境の拡充
- ② ホームページの充実、各種団体の活動紹介、情報発信方法の再考
- ③ 人づくり、仲間づくり、団塊世代の地域デビュー
- ④ 共に助け合うまちづくり、要援護者のネットワークづくり

天王寺区地域福祉アクションプラン推進委員会

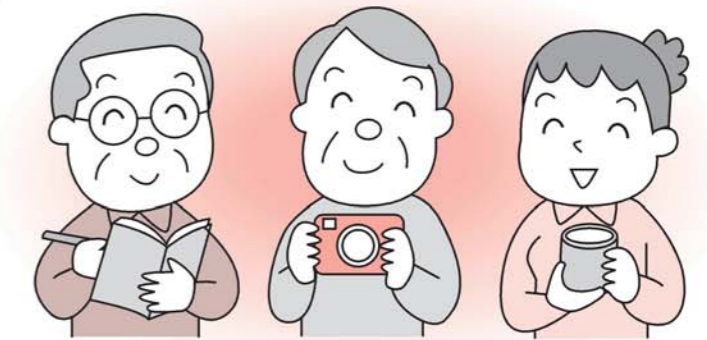
はばたけ団塊世代プロジェクト……地域デビューきっかけ講座Part.1 プロに学ぶ 秘テクニク

団塊の世代の皆様と地域との架け橋になる事業をこれから展開していきます。

あなたの知恵と力を地域のために活かしてみよう!

今回は、**第1弾!** ～地域取材し、新聞づくり～第一線で活躍する先生をお招きして講座を開催します。講習終了後、グループを作って天王寺区ボランティアビューローに登録してご活躍いただきます。ぜひご参加ください!

回	日時	内容
1	11月10日(火) 14:00～16:00	デジカメ機能
2	11月17日(火) 14:00～16:00	カメラアングル
3	12月12日(土) 14:00～16:00	ワード
4	12月19日(土) 14:30～16:30	デジカメデータ加工方法
5	1月19日(火) 14:00～16:00	取材後の編集方法
6	1月21日、22日、28日の1日 11:00～13:00	地域(ふれあい喫茶)取材・撮影
7	1月30日(土) 10:00～15:30	グループでの作業
8	2月 6日(土) 14:00～16:00	グループごとに発表



募集人員 30名(先着順) 申込締切 11月6日(金)

申 問 お電話で地域活動担当まで ☎6774-3377(担当: 土井)

はばたきプロジェクト 『ポッチャ大会』を各地域で推進しています

～試合は白熱、会場全体で大盛況～

今年度から、パラリンピック正式種目「ポッチャ」の出前大会(3名1チームのトーナメント戦)を順次開催しています。

第1回、第2回の各大会には、地域をはじめ障がい者施設、近隣企業などから、多数のご参加をいただき、交流を図りました。



第1回(8月21日、区民センター)優勝チームの皆さん



第2回(9月14日、区役所講堂)参加者の皆さん

※「ポッチャ」は、世代・性別・障がいの有無に関わらず参加できる簡単で楽しいスポーツです。「ポッチャ」を通して、地域の中で障がい者との交流やふれあいの輪を広げ、障がいへの理解促進に繋がるよう、天王寺区身体障害者団体協議会が中心となり、天王寺区地域福祉アクションプラン推進委員会障がい班と連携し取り組んでいます。

ふれあい情報ひろば

アクションプランに参加していただいている団体のご紹介!

天王寺区老人クラブ連合会

シニアライフを仲間とともに楽しんでみませんか?

生きがいと健康づくりをめざし、グラウンドゴルフなどの大会、保養の旅、歩こう会、詩吟・カラオケ大会などの各種イベント、地域での花植え活動や友愛活動などの奉仕活動、区老人クラブ大会などを実施しています。また、区民まつり、区民文化のつどい、愛あいふれあいまつりなどに参画し、地域との連携も図っています。

問 天王寺区老人クラブ連合会事務局 ☎6771-8606